



2026年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社CCIグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 杖村 修司
(コード番号 7381 東証プライム)
問 合 せ 先 常務執行役員経営企画部長 寺井 尚孝
(TEL 076-263-1111)

中期経営戦略のアップデートに関するお知らせ

株式会社CCIグループ（代表取締役社長：杖村 修司）では、急速な社会情勢・経営環境の変化を捉え、より柔軟かつスピーディーな戦略実行を行うために、5年、10年先を見据えた中長期の経営戦略を策定し、毎年アップデートしていく方針としております。今般、中期的に目指す水準および戦略をアップデートし、下記のとおり「中期経営戦略 2026」として公表しましたのでお知らせします。

記

1. 中期的に目指す水準

	2026/3期		2027/3期 (1年後)	2028/3期 (2年後)	2029/3期 (3年後)
	実績	達成率			
銀行事業収益	606億円	125.4%	729億円	834億円	875億円
新事業収益	143億円	67.4%	153億円	185億円	209億円
経常利益(連結)	198億円	110.0%	265億円	285億円	320億円
当期純利益(連結)	126億円	114.5%	170億円	185億円	210億円
ROE(連結)	5.9%	+0.8pt	7.7%	8.0%以上	

※ROEは、国内基準行ベースのバーゼルⅢコア資本に対する親会社株主に帰属する当期純利益額により算出

2. アップデートのポイント

(1) ROE8%達成時期を2028年3月期に変更

- ・「金利のある世界」へ対応、金利収益事業を最適化するためアセットアロケーションの見直しを実施
- ・事業性貸出における市場金利との連動性が高い金利構成の更なる進展
- ・金利環境の変化を持続的に収益に反映し、ROE8%達成時期を2030/3月期から2028/3月期へ

(2) アセットアロケーションの見直し

- ・株式、外債、マルチアセット等の保有を見直し、プライベートアセットへの投資を拡大
- ・株式等の売却により得られた売却益を活用し、円債の入替を実施

(3) 新事業領域（デジタル・システム、地域活性化等）における収益を反映

- ・次世代コアバンキングシステム「BankWill」の他金融機関への提供

- ・ スポーツ・エンタテインメント事業への取り組み
- (4) 各事業領域のビジネスモデルや経験の蓄積を踏まえ、事業の蓋然性について表示
- ・ 事業毎の不確定要素や将来見通しの違いを踏まえ、蓋然性を3段階で評価し収益・費用に反映

なお、「中期経営戦略2026」の詳細は、別途IR資料にて公表しております。

■Investor Presentation https://www.ccig.co.jp/ir/ir_briefing/material/

以上

《本件に関するお問合せ先》 経営企画部 企画グループ 堀 (TEL076-223-9703)
--